

取組事例の紹介

1 取組の主要テーマ

「仕事と生活を両立して、自己の能力を発揮し、やりがい・誇りを持って働き続けられる職場づくり」を目指す

2 医療機関の属性

病 院 名 医療法人社団協栄会 大久保病院

所 在 地 水戸市石川町4丁目4040-32

病 床 数 一般病棟64床、地域包括ケア病棟35床、療養病棟61床、
回復期リハビリテーション病棟33床

入院基本料 一般病棟1.0対1 地域包括ケア病棟1.0対1 療養病棟2.0対1
回復期リハビリテーション病棟1.5対1(3.0対1看護補助)

職 員 数 288名

3 取組課題

◇学び続けられる職場

◇魅力ある職場

4 取組内容

<1年目の取組み>

- ・能力開発支援体制の整備

<2年目の取組み>

- ・看護方式の検討
- ・短時間勤務者のニーズの把握と動機づけ

<3年目の取組み>

- ・看護方式の導入

5 取組のきっかけ、取組前の問題点

専門職としての能力の向上を図る「学び続けられる職場」、仕事と生活の調和がとれた働きやすい職場づくり、「魅力ある職場」を目指し取組みを始めた。

6 取組の体制・中心人物

常勤看護師4名・短時間勤務看護師1名・総務1名の6名体制とした。

7 取組の概要

- ◇能力開発支援体制の整備をするために、今後の方向性を把握する。
- ◇看護方式を検討する。
- ◇30代正職員に焦点を当てて、業務負担軽減を図るために、業務の偏りを把握し業務計画を見直す。

8 実施後の成果や見えてきた課題

- ◇新たなキャリアパスを作成し、次年度の摂食・嚥下認定看護師研修への対象者が明確となった。
- ◇長期研修制度の対象範囲と支援内容を決定した。
- ◇院外研修時の特別保育が可能となり、申請書の見直しを行った。
- ◇リーダーナースは、チェック表に基づいて行動しており、力量判定テストでは、基本的な知識の不足が確認され、自己学習を進めている。
- ◇看護職としての勤務体制の理解を促した事で、短時間勤務者から、長日勤、日祭日、夜勤等への勤務移行者が数名確保できた。
- ◇1日の業務の効率化を図ることで「看護ケアに費やす時間が取れるようになってきた。」との声が聞かれるようになった。特に業務量が多く煩雑化していた病棟で成果が出ているため、時間外の短縮が見込めると考えている。
- ◇30代の業務負担軽減のため、業務の見直しも含め、当院の看護方式を「混合型看護方式」へ変更を検討する。